小玉有起

ブラッズ 3

Kadokawa Comics A

Kadokawa Comics A

ブラッズ3

小玉有起

KCA280-3
角川書店

9784047156210

ISBN978-4-04-715621-0
C0979 ¥560E

1920979005600

定価:本体560円(税別) 発行:角川書店

兄・ブラッズの思惑、そしてスタズをマジにさせる最悪の敵とは!!

妹・リズによって投獄されたスタズは、
ゾンビ相手に連戦連敗で脱獄不可能!?
一方、身体が消えかかっている冬実を
助けるため、ウルフはフランケンが
造った人造人間と戦うことに…!!
スタズ&ウルフの最強タッグ結成!?

Kadokawa Comics A

ブラッドラッド 3

小玉有起

なあ…

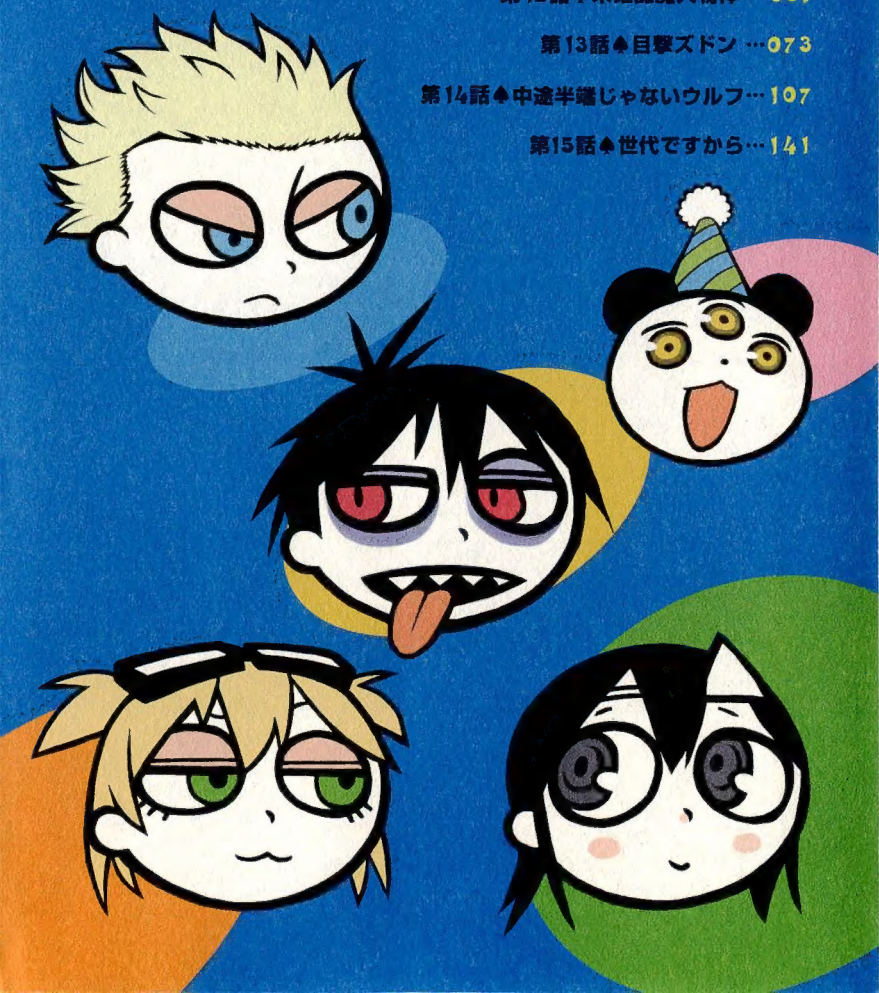
いい加減諦めたらどうだ？
そうそうあいつ等は不死身なんだ
入ったら最後俺等は一生ここから出れねぇんだよ

コダマユウキ
小玉有起

第11話♠
気持ちブラッドめで

CONTENTS

第11話♠気持ちブラッドめで…001
第12話♠未確認魔人物体 …039
第13話♠目撃ズドン …073
第14話♠中途半端じゃないウルフ…107
第15話♠世代ですから…141

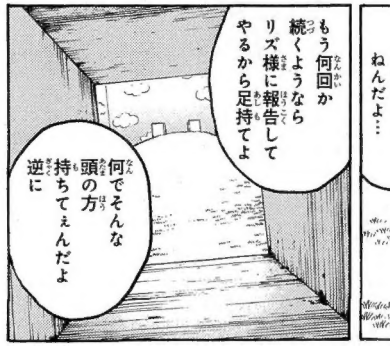


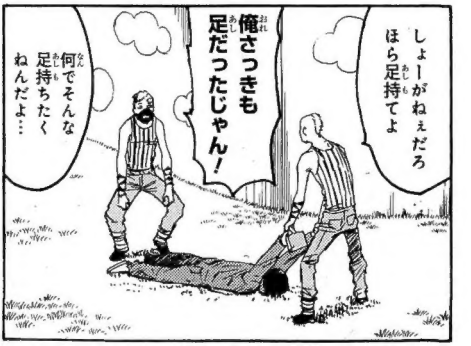
ポイ
ビ――ッ
ビ――ッ
だから何でだよ!!
無理だっつうの!
何回戦っても一緒だよ!!
コ!!
イン…
B·T·R
PRISON
おいおいマジ? また?

ドサッ
B.T.R PRISON
学べよ

そんなん俺らで勝手に決めていいわけねぇだろよ
えーじゃまた牢まで運ぶのー？

お ニューの囚人服がもうボロボロじゃねえか
なあもうコイツ戻さなくてよくね？
回復する度ボタン押して来るしよー


何でそんな頭の方持ちてぇんだよ逆に
もう何回か続くようならリズ様に報告してやるから足持てよ


しょーがねぇだろほら足持てよ
俺さっきも足だったじゃん！
何でそんな足持ちたくねんだよ…

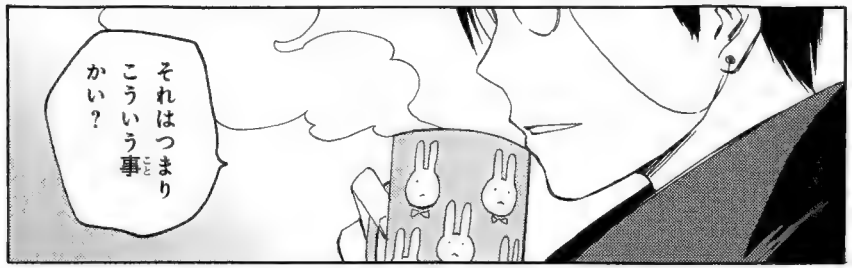
ガオーッ
うわー
クマだ！
クマが出た！
マスクのまま
コーヒーかい？
ガタッ
カツーン
どうしたんだい
そんなに驚いて

私がここに来たのがそんなに意外かい？
リズ
兄様…
ち違います
これはココアです
ああそうか
リズは苦いのが嫌いだったね…
すまない私とした事が忘れていたよ…
でもリズ…君が挙動不審な理由は
そこじゃないんだろ？
……

ガ
ポ
私と会う時はマスクを外せと言っていたろう
……
さぁ 私の目を見てゆっくり話すんだ…
な…何をですか
バレてないとでも思ってたのかい？
君に特権を与えたのは私だよ…
……

よいしょー!!
ドサッ
おやすみ
もう来んじゃねぇぞー
次は殺すかんなー
あーもーやってらんねーよ
ムク
ビ――ッ
ビ――ッ

受刑者番号
１０９７６３９！
受刑者番号
１０９７６３９が
挑戦ボタンを押し
ました!!
受刑者番号
１０９７６３９は
速やかに奥へ
ドウゾ
ニッ…
てめぇ
わざとか!?
殺されねぇと
思って調子
こいてんじゃ
ねぇぞ
あ？
なぁ
ヤッちま
おーぜもう
半殺しと言わず
全殺しいっちゃ
おーぜ もう
……
…そうだな…


それはつまり
こういう事
かい？

……そうです…
そこだよ 私が
ひっかかるのは

殿堂魔界に
正規ルートでない
不審な魔族が
入り込んでたので
リズは
刑務所に
収監した…
わざわざ
〝特権〟を
使って

侵入者が居たなら
その場で
処刑すればいい
何故私の許可も無く
〝特権〟を使ってまで
ソイツを牢に入れた？

戦っても勝てないと
判断しての
一時しのぎとして
なら わからなくも
ないが…
あ…うん
それ…
だとしても
納得がいかない

何か私には…
見られたくないものを
慌てて隠したように
見えたね…
怒らないから
言ってごらん
リズ…
私にまだ
隠している事が
あるだろう？
…絶対怒るもん…
あるんだね
リズ様ー
例の新入りの事で
ちょっと聞――
あれ……
これって
もしかして
来ちゃマズイ感じの
やつでした？
アハ…アハハ…
カチャ…
例の新入り
か…

…違うの…

兄様これは…
ザッ
ザッ

もう刑務所に来てからかれこれ10回目っスよ
いー加減ウザいんでコイツ完殺していっスかね？

ザッ
ガチャ
即銃殺とか話がわかるぅ
ゲホッ
ドンッドンッ
ヒュー
わぁお
ピクッ
……あれ？

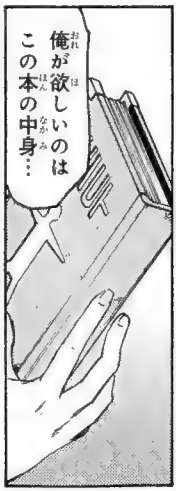
お
兄貴…
ﾄﾛ…
……
G.T.R
PRISON
魔素弾だ
体内に直接
撃ち込む事で
魔力が回復する
ダメージ
受けたけどな
問題ない
だろう
シュウ…
その傷も
吸血鬼の血によって
すぐ癒える
……
吸血鬼の血って…
それに今
兄貴って…
リズ様
もしかして
あいつ…
いや
あの方
は……
ギリッ…

スタズ
俺は出来る事なら会いたくなかったけどな

会いたかったぞ

ん…？その本は…
人体蘇生の書
兄貴が書いたんだろコレ

人間を生き返らす方法
それを聞きにここまで来た


俺が欲しいのはこの本の中身…

何だサインか？
いいだろう
いらねえよそんなもん

でも このままじゃ
消えちゃう……
おーおー
これは見事な
お通夜ムード
ですなぁ
こ
俺そんなんやだよ～
スタズか冬実
どっちかしか
生きれないなんて
あんまりだ
そりゃ雁かに
冬実とは
短い付き合い
だけどさ
同じ低級魔族同士
それなりに情も
移っちまってさ…
やめろ
そんな事は
俺も
わかってる
でもどうしたら
いいか わから
ねえんだよ…
クソッ…
……

バババーン!!
イヤッ
ホーウ
いてもたってもいられずベルちゃんさんじょ――う!!
……
帰れ大福
空気読め
今大福じゃないでしょーが!!
何の用だハイドラ
久しぶりねフランケン
お前も知り合いかよ…
……
トーゼン! フランケンは私のお得意様だもん
色々とヤバイ物仕入れてやってんのよ

確かに
そうだが
今は物を
買う気分じゃ
ないんでね
そりゃ残念
でも今日は
売りに来たんじゃ
ないのよ
この弾力が
消えちゃいそーだって
話を聞いたもんでね
ブッチャケると私
この娘誘拐しに
来たのさ
んでもって
人質にして
ツンツンと
相手をゆさぶる
気だったわけ
それなのに
人質が消えちゃ〜
困るよね
何となくその
相手がわかる…
フランケン…
あんたは嘘を
ついてる
冬実ちゃんが
助かる方法は
一つじゃないでしょ
んで
こっからが本題

……フッ…
まったく お前は
急だな
いつも
お お前も
急だな…
何をする…
黙れ
俺は見下されんのが
大っ嫌いなんだよ
嘘つきと
同じくらいにな
……つまり
ブッ殺されたく
なかったら 真実を
見下さずに言え

お前にその方法を懇切丁寧に教えて私に何の得がある
だと思った
断る
だいたい
それを聞いていったいどんな人間を生き返らせたいというんだ？
女か？
……
関係ねぇだろ別に…
女なんだな？
処女か？
だ――もう何だよしつけぇな!!
関係ねーっつってんだろ!!

それともそれ言ったら教えてくれんのかよ…
考えてやらんでもない
ぜってえウソだろ!!
ハッハッハッ
おい見ろよブラッズ様が笑ってるぜ…
ああ俺初めて見た
やっぱ兄弟だから仲いいのかな

ねぇ リズ様？
ゴロロロ
うるさい
アチチチチ
オオオ
そんなぁ
今のもしかして
言っちゃマズイ
感じのやつ
でしたー？

すいません ねぇ

どうしたんだ リズ
急にゾンビを焼いたりして
……

こんなに弱い ゾンビに
スタズは勝てなかった

私は認めない
スタズが私や兄様と同じ殿堂魔族だなんて…

…リズ君は何か誤解をしているね
スタズは純粋な吸血鬼の血族だ

その時点で〝殿堂魔族〟でありどこに行こうと吸血鬼である事は変わらない
……
それは無論…

君の兄である事もだ
ぐぅぅぅぅぅぅぅ
ギュ
違う…
私の方が…
兄様のためになってる
ゴポ

ズズズズズ

オオオオオオ
私の方が
優れているのに…！

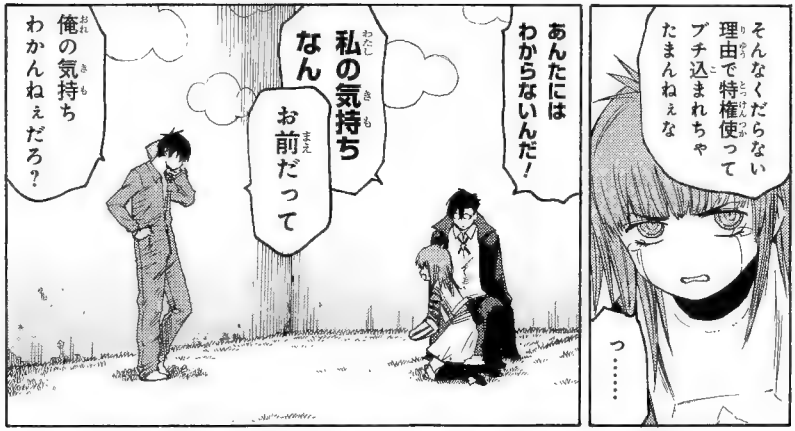
残念ながらリズ…
それも誤解だ

どうしてお兄様は
いつもそうやって!!
そうやってぇ…

スタズを…
特別扱いするの…？

ガシャッ
あんたが出ていって…
ようやく兄様が私の事見てくれると思ったのに…
あれから兄様は遠い目をして
昔のアルバムとか見たり
通販で買った変な水晶で
魔界の様子を見ようとしたり
来る日も来る日も…
ヤチャ…
今日だって本当は
私にじゃなくスタズに会いに来たんだ!!

そんな事は無いよ 私はリズの事も…
うそだ！
兄様は私がコーヒー苦手な事も覚えてなかったです!!
だからそれは謝っただろう？
……
ったく変わってねぇな
トントン


そんなくだらない理由で特権使ってブチ込まれちゃたまんねぇな
っ……
あんたにはわからないんだ！
私の気持ちなんお前だって
俺の気持ちわかんねぇだろ？

だから相子だ
お互い聞いたらくだらねぇ理由で動いてんだよ

お前が兄貴を
思うように
B·T·R
PRISON
俺は蘇生法を
知りたくて 必死
こいてるわけだ

……
そして何と
この問題を
同時に解決
出来る人がそこに
いるんだこれが
……

…言うようになったじゃないか…
いいだろう
クシ クシ
だがスタズ…お前も
私の気持ちをまるで理解していない
今からする話はリズの前ではしたくない話だった
蘇生法は教えてやる
ただし私の頼み事を聞いてくれればという話だ
いちいちめんどくせぇ言い回ししやがって…
リズの前で泥臭え取引の話させて悪かったよ
いや聞かせたくないのは取引そのものの話ではない
そのキワドイ内容の方だ

パラ…
何だと？

もう一回
言ってみろ
…だから
方法はある…

吸血鬼を
乗っとるんじゃなく
取り除くのさ

つまり元の
プレーンなユーレイに
戻すって事か

それが可能
なんだな？
何で黙って
やがった

混同種なんて
イカレた事
言ってねぇで
最初っからそれで
万事解決だろーが
フフフ…

お前等にはな…
俺には違う
形振り考えてられなかったんだ…
俺はとんでもない物を創りだしてしまったからな…
事態はかなり深刻で差し迫った所にあるんだよ…
はぁ？
〝奴〟を…
止めなければ…

♠つづく♠

一方その頃リズは!?
パート1
ズズ…
なでてもらった余韻に浸って話を聞いていなかったのであった

奴…？

魔界の種が滅ぼされる……？
何の話だよいきなり…

三日前…
私がずっと見張っていた魔界のある区域に
そいつは突如姿を現した…

第12話♠未確認魔人物体

奴は
間違い無く
あの日まで
俺の
最高傑作
だった…
……
人造…
魔人…？
そうだ…
俺の先祖は
人間の死体を
繋ぎ合わせ
怪物という名の
魔族を
造り出した…
俺はその上を
行きたかった……
そして魔族と魔族を
繋ぎ合わせ
更なる怪物を
誕生させた

はずだった…

違う…
違うんだよなあ…
こういうのじゃないんだよフランケン…
……
僕の肉体はあ…

もっと
上質なのじゃ
ないと…
相応しく
ないだろぉ…
……？
…そうは
言っても…
危険だ
もういい
制御できる
範囲のパーツで
なければ…
聞き飽きた
第一そんな
パーツは手に
入らな…
もういい
スゥ…
自分で探しに
行くから…
！

……
空間移動…!?
ああ…
俺もその時に初めて知った
奴にそんな力があった事に気付かず…
中途半端な状態で外に出してしまった…
なるほどな…
そんでそいつを止めるために混同種がどうとかほざいてやがったのか
まったくテメェは何もわかっちゃいねぇな…
…どういう事だ…?
もうここのボスは俺だって事だ

俺のナワバリで起きた事件は
俺が直にブン殴って止める
そういうルールだ
……まさか…
む 無茶だ…!!
奴はお前が思ってるより遥かに……!
遥かに…何だ?
強い…か?
上等だ…
俺はずっとそういう奴を探してた…
……
だから交換条件だ

冬実を治せ
……
いいだろう…
だがそれは
お前さんが
奴を止められ
たらの話だ
なっ
そんな事言わず
今やってくれよ！
半日なら
応急処置で娘の
体を維持できる
その間に
奴を止めてくれ
治すのは
それからだ
もたもたしてたら
消えちまうって!!
駄目だ

交換条件ってのはそういう事だろ？
ウルフさん
……
チッ
そうだな…
……
で？
人造魔人は今何処にいんだよ
ハア
ハア
ハア

ハァ
ダン…
ズズ…
な…何だよ…
さっきから何なんだよお前!!
君……
なかなか足速いねえ…
それ…
ちょーだい
は!?
僕の今の足よりは
マシかな?
カッ!

う

うわあああああ
その後奴は北に出現した

現在も
自分の体の
部位を求め
彷徨っては
略奪…進化を
続けている
……
そりゃ大変だな
ああ…
早急に手を打つ
必要がある

ああそうだよ
そうした方が
いい……
おもしろい話を
ありがとう
で？
俺に頼みたい
話ってのは？
……
無理にとは言わん

正直 今のお前に
奴をどうこう
出来るとは
私も思っていない
そそそ
無理無理
そんなん
何？ じゃあ
そいつの写真とか
撮ってくる系？
それだったら
何とか…
だが…

昔のお前を
取り戻せたら
トン
どうかな？
何の事だ
弾丸だよ
私が入れた
まだココに
在るんだろ？
忘れた訳は
あるまい

ああ
覚えてるぜ…
ギチ
ギチ
テメェが
B.T.
ボキッ
俺を殺そうと
してた事もな
プラン…
気安く
触るんじゃ
ねぇよ
……
コキン
そうか…

お前がそんな風に思っていたとはな…
では……
これに見覚えはあるか？
……
手品か？
ルパ●みたいな真似しやがって…
そうじゃないこの物体にだ
ねぇよ…
っつうか今俺腕折ったんだぜ？
何でそんなノーリアクションでフレンドリーなんだよ…
これはお前が造った
元５ｍの岩だ
折ったのではなく折らせてやったのだ
今のお前は…その違いにすら気付かないくらいに非力だが…
これが昔のお前だ…

…ちょっと…
おい…
何？ え？
わからんか
まじっ…
は？
みせて
なくさないようにね
わからんかって
…わからんよ
これがお前の才能だ
私はお前の才能を開花させようとしてきたろう
実はそれは成功した…
だが同時に失敗でもあったのだ

ゴロ ゴロ ゴロ
スタズ
ペタ…
ズ!!
その岩がどうした?
あ 兄貴
見ててね
ズズズ
ズズ!!
ズ!!

ほら
タリッ
すごいでしょ？
あ…ああ…
兄貴にあげる
……スタズ
待て…
何処へ行く
鼻血が出ているぞ
スタズ！
今度は…
あれ？
ドタン
答えは簡単だ

その力は
ジジ
まだ幼い
お前には
重すぎた
それから
も…
ドオオン
！
力を使ったと
思わしき跡には
オオオオ
決まってお前が
倒れていた…
オオオオ
使いたくて
使ったのでは
なく
それは大きな力が
小さい器から
溢れ出てしまって
いる感じだった

このままでは死んでしまう…
いや……
……兄…貴？
カチャ
ドーン
時期尚早に力を開花させてしまった…
あ…
私の責任でスタズが死んでしまうと…
その結果 私はお前の力を縛った
……
それが事の顛末だ…

信じてくれなくてもいいが…
奴が現れてから三日後に
力に見合った器に成長したお前が私を訪ねて来た
この事に私は運命すら感じている
さぁこちらに来い…
心臓の弾丸を取ってやる

そして見せてくれ…
私に…世に…
本来の…
吸血鬼のお前を…

いや……
いいよ
別に
このままで

な…
え…？
だって取ってもらったら俺その噂の怪物と戦わされんだろ？
ヤダよそんなん超ヘビーじゃん

俺は人体蘇生法を聞きたいだけなんだ
それなのにそんな余計なオプション つけて取引のハードル上げられても困る
…余計な…
オプション…？

ち…力が戻るんだぞ…？
いーよ 魔界下じゃ特に困んないし
今はそんなんいいからもっとヌルいとっとと終わる取引にしてくれ
……

ゾンビを出せ

え……

……そうか
リズ
はい！

聞こえなかったかい？
わ わかった

…おい 何のつもりだ
交渉決裂だ
今からするのは取引ではない

ボコ
ボコ
命令(めいれい)だ

スタズを
殺(ころ)せ

え
いいの？

ラジャー――
ドドド

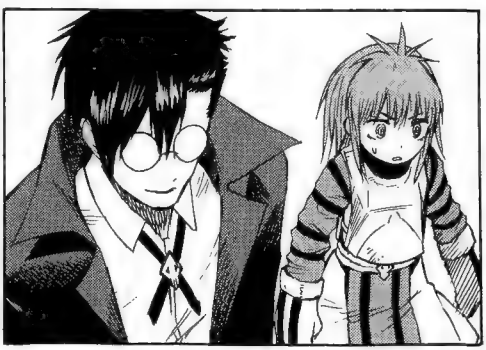
クッソ兄貴!!
ヒャヒャ
汚ねえぞ!!
何が「どうする?」だ!!

こんなもんに
ザ
ザ
ザ
ザ
ザ
選択の余地
なんてあるか!!
そうだ
今のお前に
断るという
選択肢は無い
もちろん
私と交渉する
余地もだ
つまり…
対等な立場では
無かったんだよ
ス…

ドン
そう…
この瞬間までは……
ドクッ

何だヤッちゃったんスかー？
やっぱあっけなー
ピクッ
ドサッ
ドクン
ドクン
ドクン
いや
まだ死んでいない

後はお前達の好きにしろ
ゲヘ☆
それって
喰っちまってもいいって事!?
んじゃお言葉に甘えて
いっただっきまー



♠つづく♠

一方その頃リズは!?
パート2
ダクダク
なくすなと言われていた石をなくしてしまった事に気がついたのであった

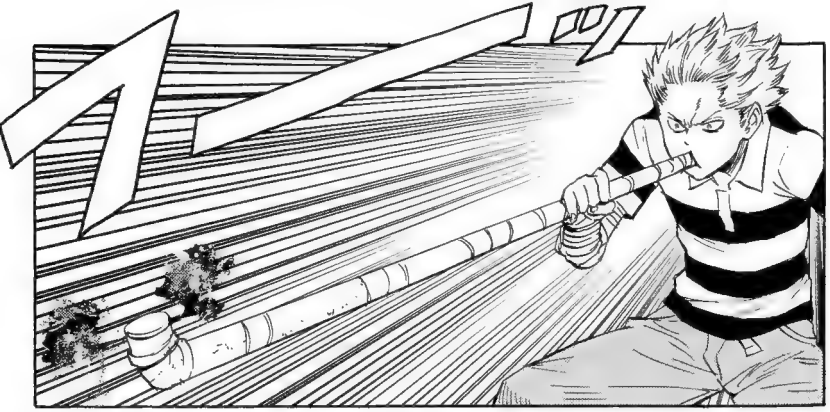
ああこれだ…
私が欲しかったもの…
チュウ
チュウ
お お 飲んでる
飲んでる
これが
応急処置か？
ああ…
濃縮された特製の
魔素ドリンクだ
チュポン
ん……
誰？

ネウ…
目覚めたか
キッ
バッグン
キキ…
キャアアア
アアアア
バッグン
……
小せぇ悲鳴だなおい…
ビクッ
わあ!!
俺だよ俺
豆さん…
あれ…
たしか私達
ウルフさんと…

ウルフボスは出ていった
奴を…いや
あんたを消さないためにな…
え……
ギュ
ズ…

第13話♠目撃ズドン

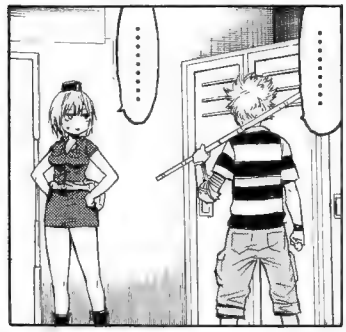
おう
戦う前に着替えに戻るなんて意外と几帳面じゃん
それがあんたの勝負服ってワケ？
キュポッ
そんなんじゃねえよ
俺はコイツを取りに来たんだ
棒？
ただの棒じゃねぇ
スゥー


ゴゴゴ

キッポ
うし
……
何じゃそら

俺の魔力をこの筒の中に閉じ込めた
これでコイツも俺の体の一部って訳だ
……
やっぱり何じゃそら
トン
まぁいい

これから実際に見せてやるよ
鬼にカネボーってやつをな

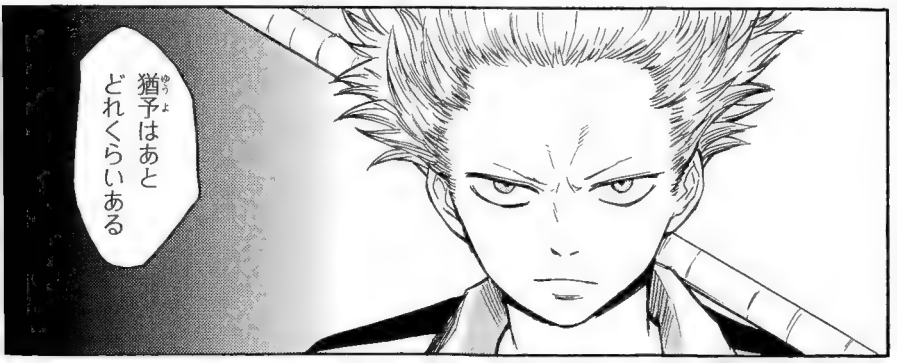

……
……

金棒ね…
パフ
パフ

ま…楽しみにしてるわ
ああ……

ズッズッ
んじゃ行っといで

北魔界(きたまかい)
奴(アキム)のところへ


猶予(ゆうよ)はあと
どれくらいある

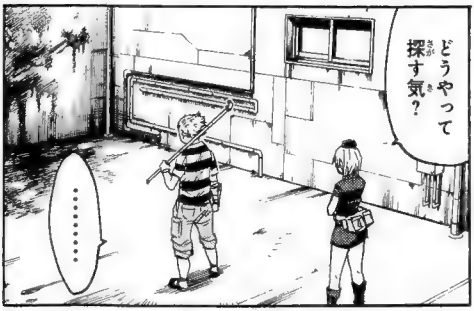
コト…
それは…
ここにあるだけの
ドリンクの量だ
…どうも
ウソくせぇな
テメェがその量で
冬実の体を維持して
混同種作ろうと
してたとは
思えねぇ
勘違いしないで
欲しい
一時間ごとに
摂取させる
シャカ
シャカ
だいたい
半日くらいだと
思ってくれ
魔力だけなら
沢山あるんだ
ありとあらゆる
種族のな…
これだけあれば
一週間はいける
だが 何も混ぜたくない…
ユーレイのまま
保ちたいのなら
ここにある分の
魔素ドリンクで
もたせるしかない
……

だから猶予はあと半日だ…
ミチ…
ミギィ…
ボト…
ひ…ひい
僕の腕と…君の腕…
ズニャ
や…やめ…
さぁ
交換しよ…

ナワバリヤブリだ

こうしてる間に
奴は略奪と成長を
続けてる…
か

とりあえず
北で最後に
目撃された
らしー現場に
来たけど
この後ドコ行ったかは
知らないよ


どうやって
探す気？
……

釈放

おめでとう
スタズ

ズン

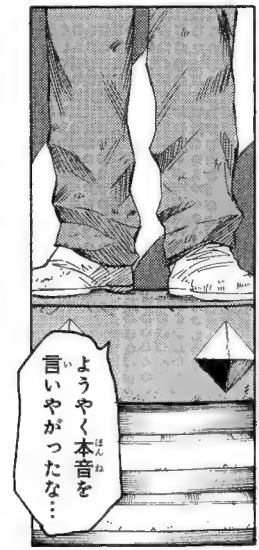
ゾンビの番人を
倒し これで
正式に釈放だ
あっそ……

力を戻し…
本来の殿堂魔族
吸血鬼になった
気分はどうだ
最悪だ

これでその
北に居る
バケモノ退治を
しなきゃいけなく
なった
力が戻って
ウキウキ気分なのは
テメェだろ

そうだな…
奴はその力を
ぶつけるに足る
うってつけの
相手だ

私が開花させた
才能を今一度
完全なものとして
見せてくれ…
私のために…!!


ようやく本音を
言いやがったな…

余計なお世話で恩着せがましく
自分の目的を相手に通すのが強引
まったく俺達そっくりだ
ゴゴゴ
そんな所が大ッ嫌いだぜ兄貴
フフフ…

そうは言っても私に従わざるを得ない
お前は本当に可愛い弟だよスタズ

約束だ

ああ…
蘇生法を教えてやる
奴を止める事が出来たら
必ずだ
約束する

……

何だ…何処に戻るのかと思えば捕まった場所か…

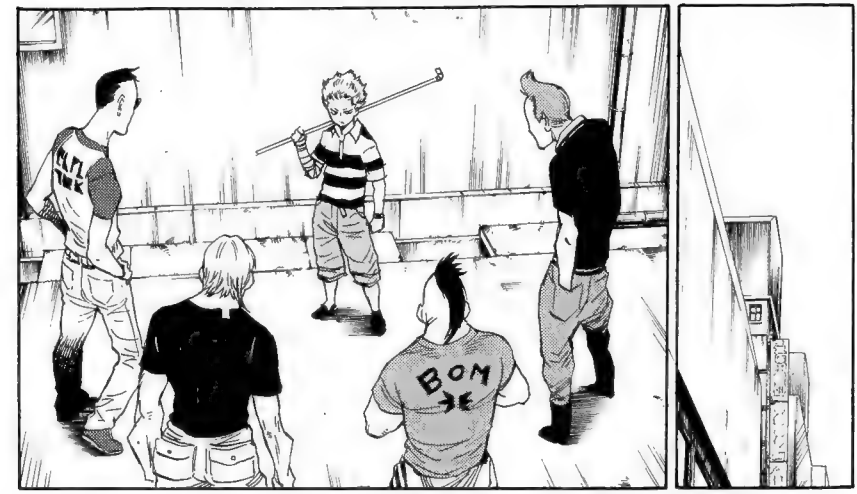
まぁいいや

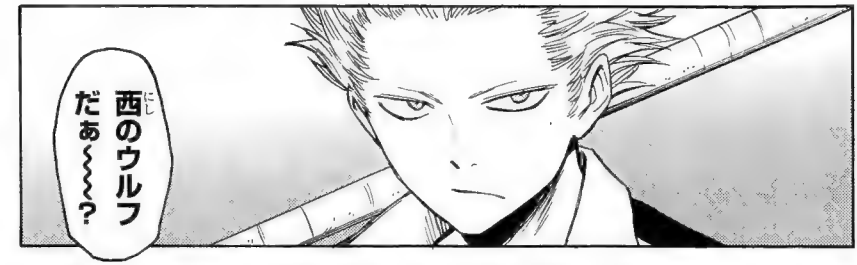
ここならちょっくら試せそうだ

ドドオオオオン

これが俺の才能？

くだらねぇ…
ザッ
BTR PRISON
家でゲームしてた方が100倍面白ぇ


BOM


西のウルフだぁ〜〜〜？

このチビが？冗談だろ
仮にそうだとして
何で北に居んの？って話じゃね？
わざわざこんなトコまで一人で来て
ナワバリヤブリッスかー？

ご苦労様だねぇ
あボス
客が来たってんで見に来てみりゃ何だ？ただのガキじゃねぇか
最近噂の例のバケモンかと思ったのによ
…そうだよな
順当に行ったら次に現れんのはココくせぇもんな
おいおい何だ知ってんのかテメェ
でも
ボスがまだ無事って事はスルーされたのかもな
お前弱そうな上にブタだし
な
テメェ…

俺は…
ブオオオオオ
ブタじゃねぇえええええ!!
…やべぇ
ビリ
ビリ
ビリ
テメ…ボスが気にしてる事を…
逃げろ!!
ミチッ
ミチッ
ビチッ
ビチッ
ズズズズ

ゴゴゴ
ブヒュー

ブタじゃん
ブタじゃねぇ
イノシシだ!!
チャッ…
一緒だろ

ゲッ

ボオン
ワリィな…
ちっとこのナワバリかりるぜ
今から俺がボスだ

ボヨヨン
ガラ
ガラ
チビがぁ…
調子こいてんじゃねぇぞ…
やめとけ
出来れば殺したくねぇ…
じゃあ俺がブッ殺してやっ――
ドカッ
ドカッ

え…!?
ボッ
うあああああ
な…何だ…
俺の…
身体が…
ブシュ
ブシュ
た…
助け……
ドドド

ドゴ
ゴゴ
やあ
……

面白いショーだったろ？
あ…な…
何が起こったかわからないって顔してるね
今のはね
これを使ったんだ
シュルル

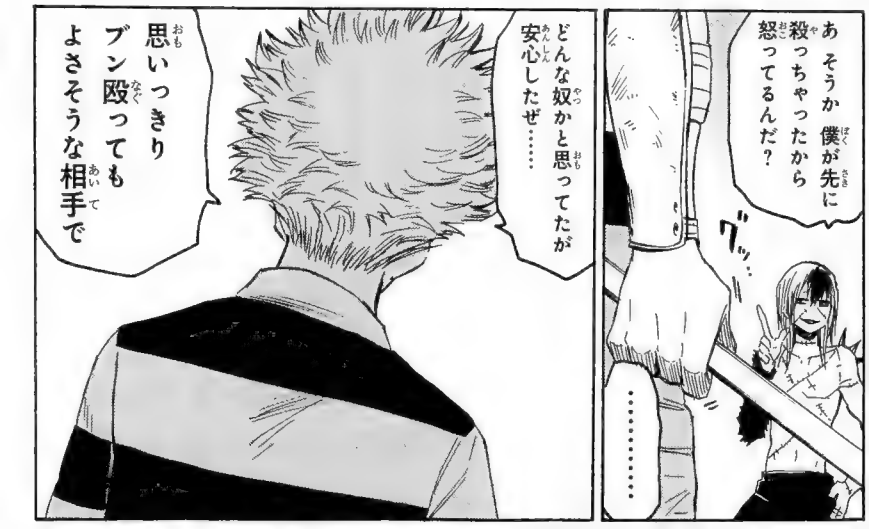
魔力で伸縮自在の指輪
これ 昨日手に入れてから使ってみたくてしょうがなかったんだ

だって僕の〝特別〟な能力にピッタリなんだもの
ピーン
大口を開けてたブタさんの口の中にいってらっしゃーいして
ブーン
体内で広げたら

ズドン
ズゴゴゴゴ
……！
ヤッシャ
これは……
空間魔術(くうかんまじゅつ)……!!
ズ…
ステキだろ？

あれ？今度はこの能力を知ってるみたいな顔してるね
つまんないの
テメエ…
そんな玩具を自慢したいがために あいつを殺したのか？

そうだよ？
クル
クル
君だってその棒でブタさん飛ばして遊んでたよね


あそうか僕が先に殺っちゃったから怒ってるんだ？
グッ…
……
どんな奴かと思ってたが安心したぜ……
思いっきりブン殴ってもよさそうな相手で

パップラドン・アキム
！
君……
ズズ
ズ
能力だけじゃなく何で僕の名前まで知ってるの？
…知りたいか？

もうちっとマシなショーを見せてくれたら
教えてやってもいいぜ
♠つづく♠

一方その頃リズは!?
パート3
石が足下に落ちていたのを発見した兄に溜息をつかれ、顔がまっ赤になっていたのであった

バーーーン!!
またまたベルちゃん参上ー!!
第14話♠
中途半端じゃないウルフ
……
おーおー予想通りのお通夜ムードっすなぁ
ベルさん…
うぜぇ…
だまれアニマル(小)

あの私…
ほうほうその顔は
フランケンから聞いたみたいだね
んでソッコー「皆に迷惑を…」とか思ってる顔だ
……
安心しな

ウルフはそんな事
微塵も思ってないよ
なんだぁ…

第14話♠
中途半端じゃないウルフ

いいよ…
ドドドドド

遊んであげる
おっと
こいつは
もう見たやつだぜ

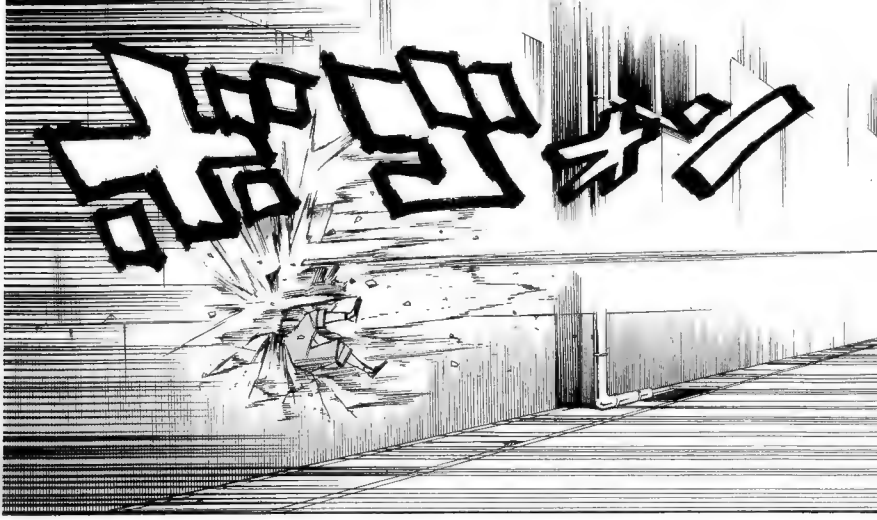
あ
バキッ
ベキ…
アハッ
アハハッ
ズバッ
ズバッ
ブワッ
！

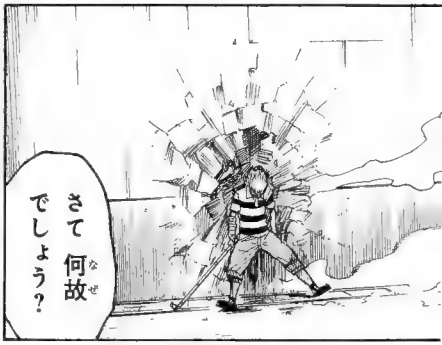
君…いいね
すごくいいよ
ハァ
ハァ
ん～～～
迷うなぁ

どこの部位も良い……
……
何ブツクサ言ってやがる
足…足か…うん
そう 本来なら足なんだけど…ん～～～
余裕こいてんじゃねぇぞ!!
あーもう
せっかちだなあ

な…!?
こっちの腕はさっき…
グニャ
折ったハズかな?

ヒュ…
治ったわけじゃないよ
コキッ
確かに折れてた
……でもね
クキ。
僕には関係無い
ガラ。。
知るかよ


ゴゴゴゴゴ


さて 何故
でしょう？

教えてあげるよ…
答えは 全部
飾りだから…
この手も…足も
身体を構成している
物すべてね…

クイズは
嫌いそうだね
僕は好き
なんだけど？

骨や肉…神経で
動かしてるん
じゃない
魔力で操って
いるだけ…

だから君が
見ている僕は僕だけど
本当の僕の姿じゃない
死肉を操る亡霊…
それが僕の正体
だからさ…

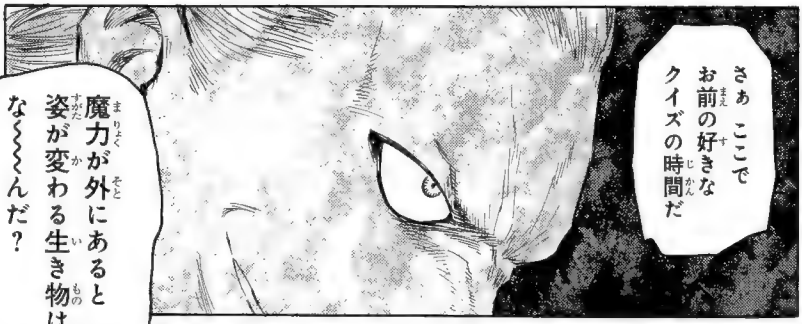
あっためてた
ラップのポエムは
決まったか？
キュポッ

コッチも持って
きてた弁当でも
食いながら

そんじゃ
ここいらで

楽しいランチといこうか
アハッ
何だいそれ
ブアア

これか？これは別の入れ物に入ってた俺の魔力だ
これから本来の入れ物に戻ろうとしてる

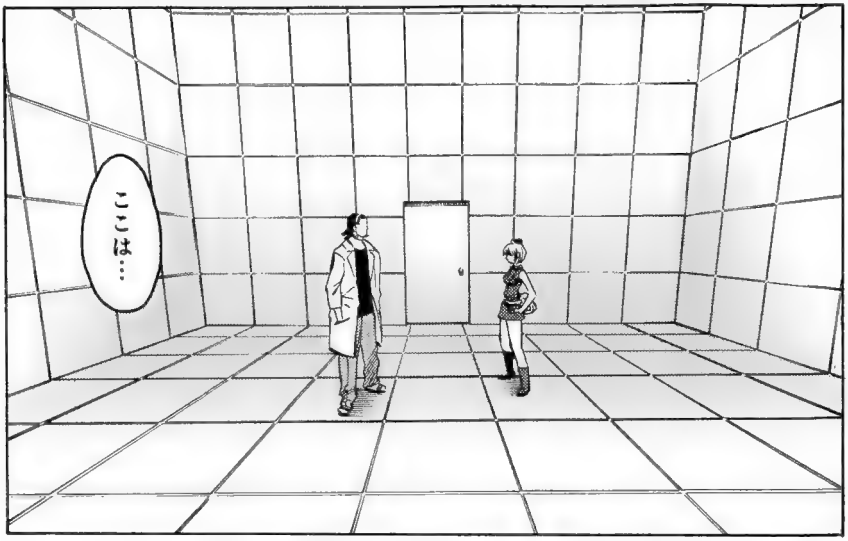

さぁ ここでお前の好きなクイズの時間だ
魔力が外にあると姿が変わる生き物はなぁ〜〜んだ？

オッ

答えは
俺だ
まだ僕答えてないのに…
君クイズの才能ないよ…
でも…
面白いね…
3分…

それがウルフの狼になれる時間
その間に勝負つける気みたいだよ
ちょっと待ってくれ
ウルフは狼男だろ？変身に時間制限があるのか？
詳しい事は私も知らないんだけど
完全な狼になるには条件があるらしい
丁度ウルフの全身を覆える量の魔力
それで自身をコーティングして初めて真の力が発揮できる
この量が狂えばボクシングの時みたいな中途半端な変身になっちゃうわけ
あ…あの時の…
でもそれが何で3分しか持たねーんだよ
…そーいやそーね…

おい！
まあいいじゃん
よくねーし！
おいどこ行く!!
まだ話は終わってねーぞ!!
悪いねぇ
今度は私フランケンと話があるから
個人的なね
……
カラン
カラン
ちょっと二人っきりで
いやらしい女だ

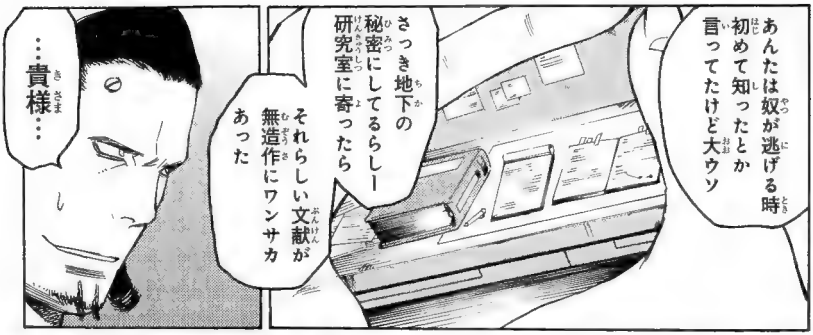

ここは…

どういうつもりだ
ハイドラ
俺をこんな所に
閉じ込めたら
あの娘は
治せないぞ
へー治す気
あったんだ？

あんたはウルフが
勝てるなんて最初っ
から考えてない
むしろ早く
負けてほしいとすら
思ってる

そうなれば手放しで
次の玩具をいじれる
もんね
……
あんたが
考えてる事なんて
私にはバレバレな
わけ

んで本題
アキムが空間を移動出来るって話


あんたは奴が逃げる時初めて知ったとか言ってたけど大ウソ
さっき地下の秘密にしてるらしー研究室に寄ったらそれらしい文献が無造作にワンサカあった
…貴様…

言ったでしょ…私にはバレバレ
だから今の内に知ってる事を全部話しとくのが…
吉

あの辺が東で…
北はあっちか
今ほど
マントと全身タイツが欲しいと思った事はねぇな
光る石でも首から下げて落ちてやるのも悪かねぇが
生憎俺は男の子だし？
ワッ
ワッ
ここはやっぱ勇ましく
原子力の力で飛ぼう
ザッ
オオオオオ

ダッ
ゴオオオ
そっらっをこーえてー
らっらっらっ

ゴゴゴゴ
ガガ
Hガガ
いい…良いよ…
すばらしい!!
棒なんて
振り回してた時の
君よりずっと良い!!

そのスピード!!
パワー!!
無駄の無い
理にかなった
スタイル!!
美しい…
でもどこか…
儚い……

ギ
ンッ
ズズ
いやその儚さが…
ブッ
ブッ
美しいのかもしれない…

その通りだ…

こちとら
時間が…
無えんだよ…

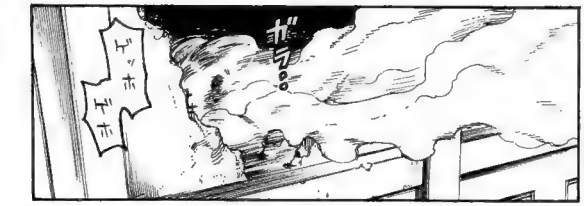
外に出した
魔力は…?

ズザア
どんどん
俺の体内へ
戻ってしまう

俺の狼男ではない
雑種な部分が
そうさせちまうんだ…

テメエの言うとこの
儚い部分ってやつだ…
あばよ 変態ツギハギ野郎

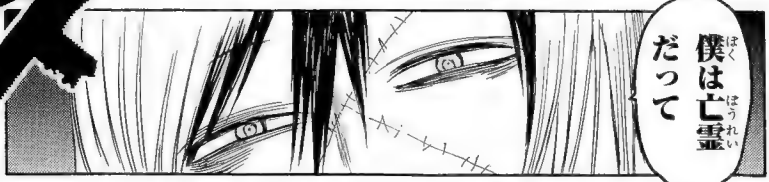
ドゴォォ
!


ガラ…
ゲッホ ゲホ

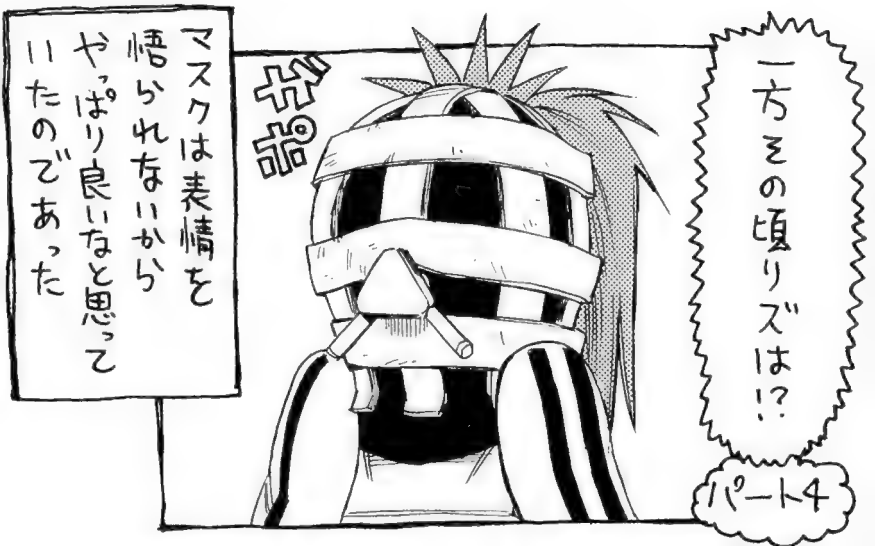
は？

いってぇ～～～
俺(おれ)に別(べつ)に飛(と)べねーの忘(わす)れてたぜ

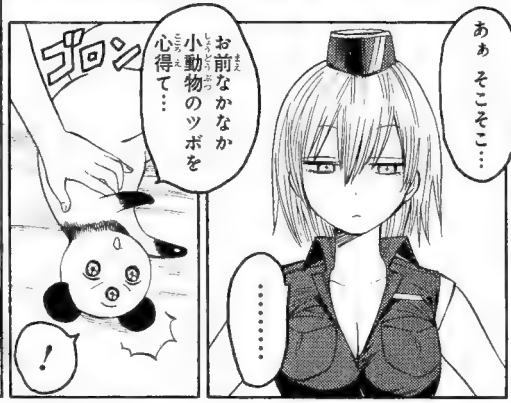
って
あれ？
新しい
お友達かい？
！
何してんだよ
こんなトコで
ウルフじゃん…
ス…
スタズ!?
…おいおい
マジかよ…



♠つづく♠


一方その頃リズは!?
パート4
ポポ
マスクは表情を悟られないからやっぱり良いなと思っていたのであった

モミ…
モミ。
気持ちいいですか？
……うん


あぁ そこそこ…
……
お前なかなか小動物のツボを心得て…
ゴロン
！

なっ何だよベル!! 何普通に帰って来てんだよ!!
ジャジャーン いろよ
いやらしいアニマルだよ本当…
ちっ違う…これはその
まぁそんな事はどうでもいいわ

フランケンはしばらく帰らないそうだから
ウルフ
私らは私らでウルフの応援でもしましょ

特等席でね
え

ウルフ！

あ！

ザザザ
第15話♠世代ですから

何(なん)だよありぁ…
……！

ガシーン
ガシーン
ガシーン
どう？
今回のショーは驚いてくれたかな？
……
ゴゴゴゴ
クソ…思ったより早く…
シュウウ
変身が…
……

スタズ!?
時間切れか？
ウルフ
！
あ…
あれは…
え…
何であいつがここに居るんだよ
さ…さあ…
お前が狼男になって殺り損ねた相手は初めてだな
どけよ
まだ終わってねえ
そんな事言わず俺にも紹介してくれよ

このビジュアル系が例の
何とかって怪物だろ？
B·T·R
PRISON

……へえ
君も僕の事知ってるの？
なんで？

どういう事だスタズ
テメエ蘇生法はどうしたんだよ
お前ぇこそ冬実をどうしたんだよ
B·T·R
PRISON

こっちが聞いてんだよ答えろ
お前が答えたら答えてやる
うるせえ！こちとら時間がねんだよ！
……
知らねぇよそんな事

君達……
時間無ぇならとっとと言えよ
言ってる時間が無えって言ってんだろ
時間が無えって言ってる時間が無えってどういう事だよ
そんな事言ってねえだろうが！

聞いてるのは

僕だ

君達が
何者かは
知らないが

それを答える気が無いなら
僕の楽しいショーはここまでだ
ドドド

クッ
スッ…
こっちはジリ貧だってのによ…
ズゥ…
変身を解いた!?
そんな…
だってまだ時間は…

何(なに)それ…

今(いま)の内(うち)に逃(に)げろって事(こと)!?

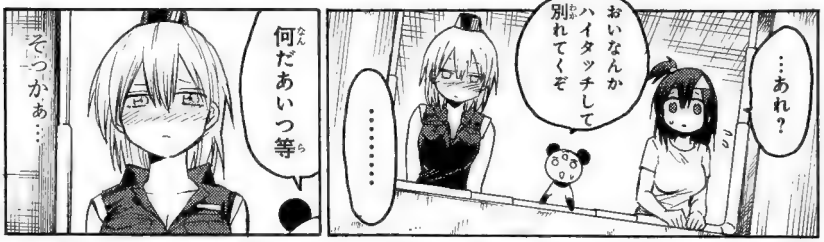
必殺(ひっさ)あっ!!

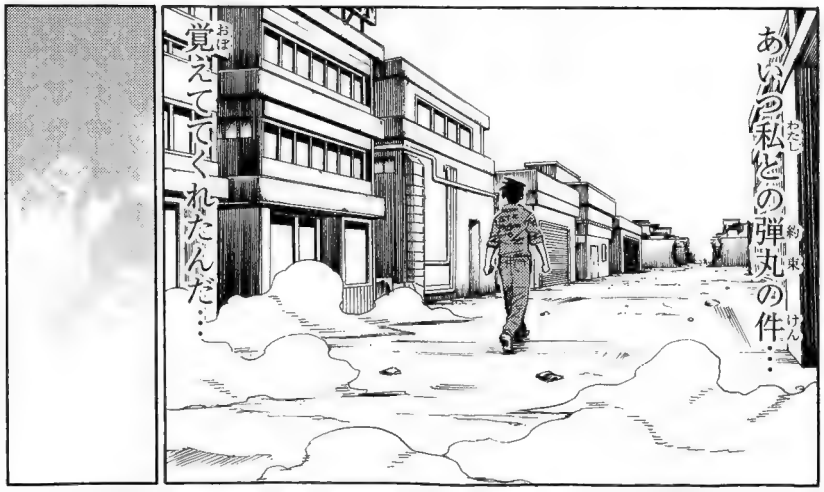
吸血鉄山靠!!
（きゅうけつてつざんこう）

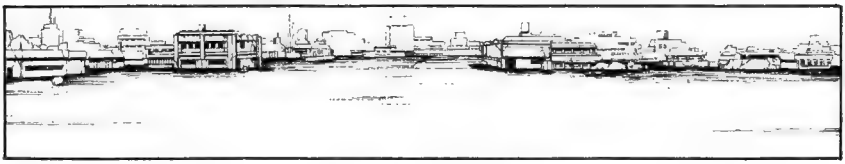
ドドドドドド
10年早かったな
何それ!?
そして今のどこに吸血要素が!?
っていうか…
もしかしてあいつ…
やっぱりか…

よく聞け
弾丸無し
ああ？
俺は次また
変身するまで
魔力を溜めなきゃ
ならねえ
つまり…
つまり今のまま
奴と戦ったら
ソッコーで
バラバラに
されちゃいそー
って事か
ああそうだよ…
今の俺はな…
だが今のお前は
違いそうだ
だから
お互い何で
ここに居るかは
後にして…
何しに来てん
のかを考えて
行動する…
…つまりそれは
どういう事だ？

バトンタッチ
パァァン
そういう事だ
俺が戻るまでくたばんじゃねぇぞ吸血鬼


…あれ？
おいなんかハイタッチして別れてくぞ
……
何だあいつ等
そっかぁ…


あいつ私との弾丸の約束の件…
覚えててくれたんだ…

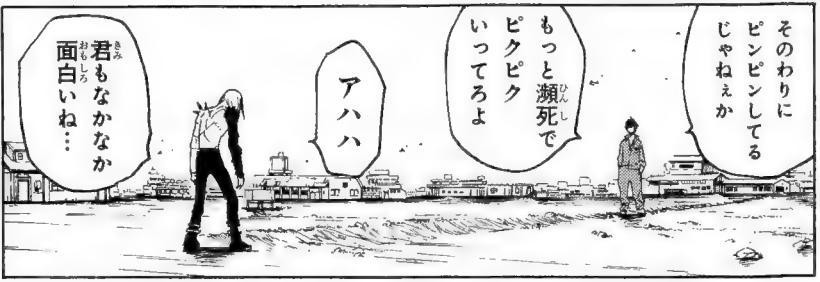


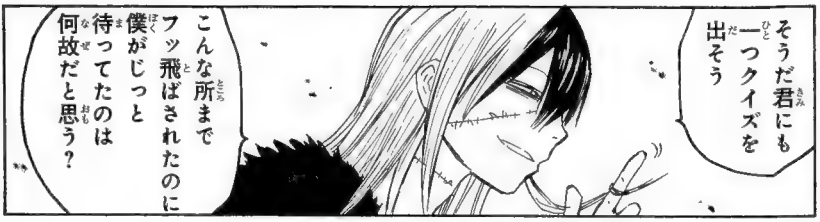
あれ？
君一人だけ？

テメエをシバきに
街外れの荒地に
ってわけだ

ああ……
狼男は
お気に入りの棒を
拾いに街へ
そして俺は

ああ
ずいぶん
寂しい所まで
飛ばされちゃっ
たよ


そのわりにピンピンしてるじゃねぇか
もっと瀕死でピクピクいってろよ
アハハ
君もなかなか面白いね…


そうだ君にも一つクイズを出そう
こんな所までフッ飛ばされたのに僕がじっと待ってたのは何故だと思う？

さぁな…
蟻の巣でも見つけて夢中になってたか
アホだからのどっちかだろ

違うよ答えは
これくらい広い所の方が君達二人相手に思いっきり戦れる
そう思ったからだよ
あっそぉ
お前クイズの才能ねぇよ

その攻撃もさっき見た
楽しみにしてたのに…
何一人で来てんだよ
決まってんだろ
俺一人で十分だからだよ

ヒュ
ゴ

オイ
知らねえよ

……
それ…

さっきのもそう……
気に入らないな…

ドドド

死ねオラ
ボケが
逃げんなテメェ
ドドドドド
ハラ
ハラ

ス…スタズさん…
ハラ
ハラ
た…たしかにベルの言う通りパワーアップしたみてぇだけど

メチャクチャすぎだろ…あいつ…
どこ行きやがったちくしょー!!
こんな何もない所で見失ってるし…

いつもの事だろ
ウルフ!

あいつの戦いが一度だってちゃんとしてた事なんて無ぇよ
全部デタラメと思いつきだ

でも仮にウチのボスなんだぜ
ああそうだ
ドカッ
アレでも
でも逆に言えばあのふざけた戦い方でもボスになれてた
……
そういえばあんた知ってたんだ…スタズの弾丸の事
しかも力を封印されてた状態でだ
それくらい殿堂魔族の血ってのは規格外なんだよ
長ぇ付き合いだからな
会った瞬間すぐに気付いたぜ
あいつのデタラメな魔力が…
オオ
オオ
ケタ違いに跳ね上がってんのを…

本当に
メチャクチャなのは
これからかもな
ザッ
あれ？
もうお終いかい？
……
わかった…
？
お前には
細けぇ攻撃を
チマチマ当てても
意味が無え

なるほど
それで？
一撃だ…
一撃で消し飛ぶような
デケェのを一発ブチかます
ズズズ
見てろよ…
ゴッ
ゴッ
ゴッ
かぁ……

ちょっ
めぇ……
はぁ……
めぇ……

ゴッ
ハブッ
吻
ドゴォ
それは…
何の真似だい？

ふうう……
くたぁ…
どうした冬実
ドリンク飲むか!?
いえ違うんです
ちょっとスタズさんの技にビックリしただけで
確かに…
今の魔力…
ああ…とんでもねぇ
もしアレが決まってたら奴もヤバかったハズだ…
冗談抜きにな…
そう冗談じゃなく本気でやってるんです…きっとあれ訴えられますよ
メチャクチャですよ…
確かにね
ああ…本当に
あいつはメチャクチャだ

技の途中で蹴り入れるとは
まったく礼儀がなってねぇな
……
一つついいかな？
それをまったく生かせてない
どの技も大味で隙だらけ
美しくない
君を見てるとイライラするよ
せっかく良い部位で構成されてるのに…
君には失望したよ
特に今のはヒドかった
あんな技を意気揚々とくり出そうとするなんて…
三流のする事だろ？

テメエ…

今何つった…
つまり…
ヒーローの技だ
俺の尊敬する宇宙一の…
今の技は…
オオオオオ
あんな技だと…？

もし今の技を本物が出していたら
間違い無く
100%
テメェは一瞬で塵になってた
そんくらいスゲェ技だ
テメェが無事だったのは俺が偽者だったから…
偽者の俺が
憧れのあまり軽はずみにした真似だったからだ
そりゃ三流で当然さ
到底俺が出せる技じゃなかったんだ
だから俺は俺の…
技で勝負しないとな？

そうだね
君は君の…
うるせぇ黙ってろ
今決めたトコだ
必ず…殺す
ドドドド
必殺だ
それも「超」必殺だ
オリジナルの
わかるか？

テメエは
テメエが
馬鹿にした
三流の俺が
生み出した
超必殺技で
必ず殺す
ドドド

一方その頃リズは!?
自分のマスクコレクションを見ながらそろそろ新しいのが欲しくなっていたのであった
パート5

魔界に生きる

ウルフの生活編

ドーチャ
え——っと
でこっちが
ウルフまんじゅう
西魔界の新名物！
ウルフまんじゅう
です
あんこと
カスタード
食べて
みます？
……
何だよ
コレは…
え？ ドレッサか
全部だ
全部
誰がこんなん
作れっつった
どうやら西のお土産
試作プレゼンだった
ようですが…
いいか
西の土産っつう
のは
北とか南の奴等が
もらうんだよ
そいつ等がその土産を
開けて見て
俺に挑戦したく
なるようなのにしろ
「喧嘩上等」って
書いてある
見たいな事すか
そうだ
え…でも
それじゃあ…
お土産買って
渡した人が喧嘩
売ってるみたいに
なんないすかね…
……
彼は常に
戦う相手を
求めています

街にはこんな張り紙もしてあり

ナワバリヤブリ大歓迎

詳しくは

挑戦するだけで景品が貰えたりもします

ご!!まで待ってます

しかし
まったくと言っていいほど
挑戦者はいません

あっボス

ウルフボスチュース!

チース!

よかったらウチでメシ食ってってよ

いやいやウチで

これ差し入れっス

街は平和そのもの

みんなボスをボスと認め慕っているのでした

あーボス!こんな所に居た!

あれから俺考えたんすよお土産

外見はそのままフツーにまんじゅうの箱なんすけど

ウルフ

まんじゅう

鳥美羊に行ってきました

うまーい

開けたらホラ

カパ

ごめん食っちまたわ

バーカ

Bウルフ

これならコストも大幅削減!!

怒りのあまり挑戦してくる事うけあい!

メキ

俺は甘ぇもんそんなすきじゃねぇ

……え?今のパンチそういう…

ちなみに彼は日に3発は今のやつをおみまいされます

END

ドラッド第4巻

予定!!

発行：角川書店
発売：角川グループパブリッシング
Kadokawa Comics A

ブラッ
吸血鬼(スタズ)VS人造人間(アキム)完全決着!?
いくぜ
2011年夏頃発売

Kadokawa Comics A

角川コミックス・エース

ブラッドラッド③

著者
小玉有起（こだまゆうき）

2011年2月4日初版発行

発行者
井上伸一郎

発行　株式会社角川書店
〒102-8078 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8541(編集)
発売　株式会社角川グループパブリッシング
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8521(営業)
http://www.kadokawa.co.jp

装幀・デザイン
佐々木基

印刷
大日本印刷株式会社

製本
大日本印刷株式会社

初出／『ヤングエース』'10年8月号～12月号

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。落丁・乱丁本は、ご面倒でも角川グループ受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

2011 KADOKAWA SHOTEN, Printed in Japan

©Yuuki KODAMA 2011
ISBN978-4-04-715621-0 C0979

JASRAC 出1100307-101

今回居ないかと思って寂しかった？
飲み物取りに来てただけだよ
お前も飲む？